

学生のアイデアを反映した 新たな刑務所作業品が完成

沖縄大学

11月26日、沖縄大学（沖縄県那覇市）経法商学部経法商学科の富山侑美准教授のゼミナールに所属する3年次生が沖縄刑務所（沖縄県南城市）とのコラボレーション企画として7月から取り組んできた刑務所作業品が完成し、12月13・14日に沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）にて行われる「第40回九州矯正展」での販売に向けた打ち合わせが沖縄刑務所で行われた。この取り組みは、再犯防止や受刑者が社会とのつながりを形成する仕組み作りの一環で、刑務所作業品開発

に学生の意見を取り入れた新たな商品開発を目指したものの。学生が機能性やサイズについて意見を出し、受刑者が改善を重ね商品が完成した。

当日は軽さや質感、使いやすさまで学生のアイデアが詰まった作品4点が披露され、受刑者とのつなぎ役である作業担当刑務官から製品の特長やこだわりが伝えられた。完成した商品を見た学生は想像以上の仕上がり、喜びの表情を浮かべた。

仲井閣宗杜さん（沖縄県立那覇西高等学校出身）は「私たち学生とのコラボというこ

学生の意見が取り入れられた刑務所作業品



とで、身近ではない刑務所という場所を、開かれた刑務所にしていく啓発活動として意義あるものになったのではないかと思います」と感想を語った。また、刑務官からは「学生のアイデアに対して要望をかなえるために、技術の向上もできました」と活動への感謝の言葉が寄せられた。